

土地改良事業変更計画書

県営経営体育成基盤整備事業

地区名 横波地区

事業主体 滋賀県

目

次

第 1 章	目的	1	第 6 章	附帯工事計画	28
第 2 章	地域及び地積	1	第 7 章	工事着手及び完了の予定時期	28
第 1 節	地域	1	第 8 章	環境との調和への配慮	28
第 2 節	地積	1	第 9 章	換地計画の概要	29
第 3 章	現況	2	第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	29
第 1 節	気象及び海象	2	第 2 節	換地区の設定	29
第 2 節	土地状況	3	第 3 節	換地計画樹立の基本方針	29
第 3 節	水利状況	5	第 4 節	土地の評価及び精算の方法	29
第 4 節	道路概況	9	第 5 節	換地計画樹立の年度計画	29
第 5 節	地域農業の概況	10	第 6 節	換地処分 of 時期に関する特則	29
第 6 節	地域環境の概況	12	第10章	事業費の総額及び内訳	30
第 4 章	一般計画	13	第11章	効用	30
第 1 節	事業計画の要旨	13	第12章	関連する事業	31
第 2 節	営農計画及び土地利用計画	13	第13章	現況・計画図面	32
第 3 節	用水計画	17			
第 4 節	排水計画	21			
第 5 節	道路計画	23			
第 6 節	農用地造成計画	23			
第 7 節	洪水調節計画	23			
第 8 節	干拓計画	23			
第 9 節	農用地整備計画	23			
第10節	老朽ため池改修計画	24			
第 5 章	主要工事計画	25			
第 1 節	用水施設	25			
第 2 節	排水施設	26			
第 3 節	道路及び索道	26			
第 4 節	農用地造成	27			
第 5 節	洪水調節施設	27			
第 6 節	干拓施設	27			
第 7 節	農用地整備施設	27			
第 8 節	老朽ため池改修施設	28			

第1章 目的

本地区は、滋賀県長浜市の北部に位置し、昭和50～54年に団体営ほ場整備事業で農地生産基盤の整備が行われたが、工事完了後40年以上が経過し、用排水路施設の老朽化が著しく安定的な用水確保や水管理に多大な労力を費やしており営農に支障をきたしている。

このため、本事業において水路施設の改修を行うことにより用水の安定供給・水管理等の効率化を図り、暗渠排水による農地の乾田化により生産性の向上を目指し、併せて担い手への農地集積を進めることにより本地域の農業競争力の強化を図るものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
経営体育成基盤整備事業	滋賀県長浜市西浅井町横波

第2節 地積

(令和7年3月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
経営体育成基盤 整備事業	長浜市	(〃) 12.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 12.3	
合 計		(〃) 12.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 12.3	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	長浜地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計または平均	備 考
観測期間	S54年～H30年	5月 ～ 9月	10月 ～ 4月		
平 均 気 温 (°C)		22.4 °C	8.0 °C	14.0 °C	
降 水 量	平 均 (mm)	796.6 mm	791.7 mm	1,588.3 mm	
	基準年 (mm)	513.9 mm	— mm	— mm	国営湖北地区よりS30年 木之本測候所 (S49廃止) データ抜粋
降水日数	平 均 (日)	54 日	94 日	148 日	
	基準年 (日)	50 日	— 日	— 日	国営湖北地区よりS30年 木之本測候所 (S49廃止) データ抜粋
根 雪 期 間		—		— 日間	
無 霜 期 間				日間	
最 多 風 向		東南東	最大風速 (風向)	19.6 m/s (E S E)	最多風向発生時期 9月 ～5月 最大風速発生年月日 平成30年9月4日

2 特殊気象

(第3表-2)

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
長浜地域気象観測所	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	
観 測 期 間																
S54年～H30年																
最大日雨量(mm)	187.5	H29.10.22	1/950	163.0	H30.7.5	1/195	113.5	H23.5.11	1/10	113.0	H22.7.14	1/9	109.5	H25.7.29	1/8	
最大時間雨量(mm)	50.5	H20.7.18	1/24	50.0	H27.6.21	1/22	49.0	H29.7.17	1/19	49.0	H19.7.12	1/19	48.5	H24.8.14	1/18	
最大4時間雨量(mm)																
最大連続雨量(mm)	396.0	S60.6.27 ～ 7.14	1/94	329.5	H30.7.4 ～ 7.8	1/32	291.0	H29.10.15 ～ 10.25	1/17	252.0	H18.7.15 ～ 7.21	1/9	246.0	H22.7.11 ～ 7.15	1/8	
最大連続干天日数 (日)	41	H19.8.7 ～ 9.16	1/42	38	S58.12.19 ～S59.1.25	1/25	37	H12.8.3 ～ 9.8	1/21	36	S54.1.1 ～ 2.5	1/18	33	H6.7.9 ～ 8.10	1/10	

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑 ・ そ の 他								受益地標高(m)		備 考
	傾 斜 区 分	1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
										8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°						
経営体育成基盤 整備事業	面積 (ha)			8.35	3.98		12.33			-	-	-	-	-	-	174.0	104.0	
	比率 (%)	-	-	67.7	32.3	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-			
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
合計	面積 (ha)	-	-	8.35	3.98	-	12.33	-	-	-	-	-	-	-	-			
	比率 (%)	-	-	67.7	32.3	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-			

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壌 統 (区) 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備 考
	土 壌 断 面							堆積様式	母材	事 業 名				
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	土 性					泥 炭 層 黒 泥 層 及びグライ層	基 経 盤 営 業 整 体 備 育 成 事 成	計		
					表土	下層土								
					一層	二層	三層							
強グライ土壌 壤土還元型	灰褐	少	－	なし	L	SL	－	グライ層31cm～	洪積	粘板岩	12.3		12.3	D34
計											12.3		12.3	

2 土地分類 該当なし

3 土地利用の状況

(令和7年 3月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採 草 放牧地	原 野	その他	計	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
経営体育成基盤 整備事業	長浜市	(") 12.3	(") -	(") -	(") -	(") -	(") -	(") -	(") -	(") -	(") -	(") -	(") 12.3	
合 計		(") 12.3	(") -	(") -	(") -	(") -	(") -	(") -	(") -	(") -	(") -	(") -	(") 12.3	

4 土地所有の状況

(令和7年 3月現在) (第4表-4)

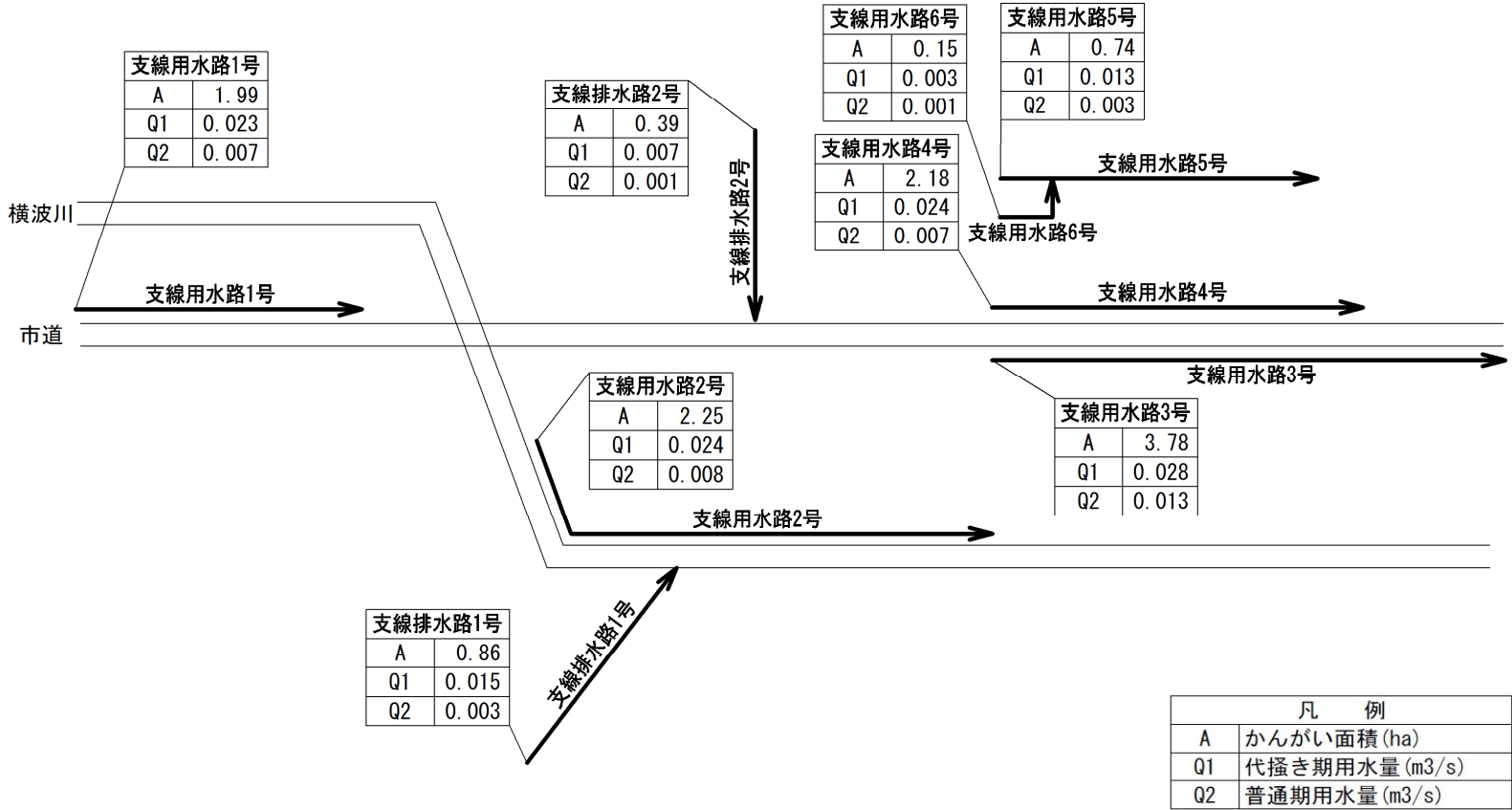
事業名	区分 所有別	個 人 所 有	県 所 有	市 所 有	土地改良区	計	備 考
経営体育成基盤 整備事業	面 積 (ha)	(") 12.3	(") -	(") -	(") -	(") 12.3	
	受益者数 (人)	(") 30	(") -	(") -	(") -	(") 30	
	筆 数 (筆)	(") 83	(") -	(") -	(") -	(") 83	
	権 利 関 係	所有権	-	-	-		
	備考(関係戸数)	(") 30	(") -	(") -	(") -	(") 30	

第3節 水利状況

1 用水状況

地区内の用水は、流域山林より流出する渓流水から取水している。用水路は昭和50年から昭和54年にかけて、団体営ほ場整備事業で整備されている。経年変化により、水路の損傷や沈下による漏水等により、配水や営農に支障をきたしている。

(1) 用水系統



(2) 用水施設
(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水 利 権		慣行水利権		延べ取水量		備 考
		100ha以上		100ha～30ha		30ha未満										
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	m ³ /s			
経営体育成基盤整備事業	貯 水 池															
	井 堰															
	自然取入口					(〃) 8	(〃) 12.3	(〃) 8	(〃) 12.3			(〃) 8	(〃) 12.3		(〃) 0.060	
	揚 水 機															
	そ の 他															
	計	-	-	-	-	(〃) 8	(〃) 12.3	(〃) 8	(〃) 12.3	-	-	(〃) 8	(〃) 12.3	-	(〃) 6.000	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備 考
経営体育成基盤整備事業	貯水池	-	-					
	井 堰	-	-					
	自然取入口	-	-					
	揚水機	-	-					
	用水路	(〃) 1	(〃) 12.3	(〃) 2次製品水路	(〃) UF200～350	(S50～S54) S50～S54	(〃) 老朽化	
	その他	-	-					
	計	(〃) 1	(〃) 12.3					

(3) 用水に関する被害状況 該当なし

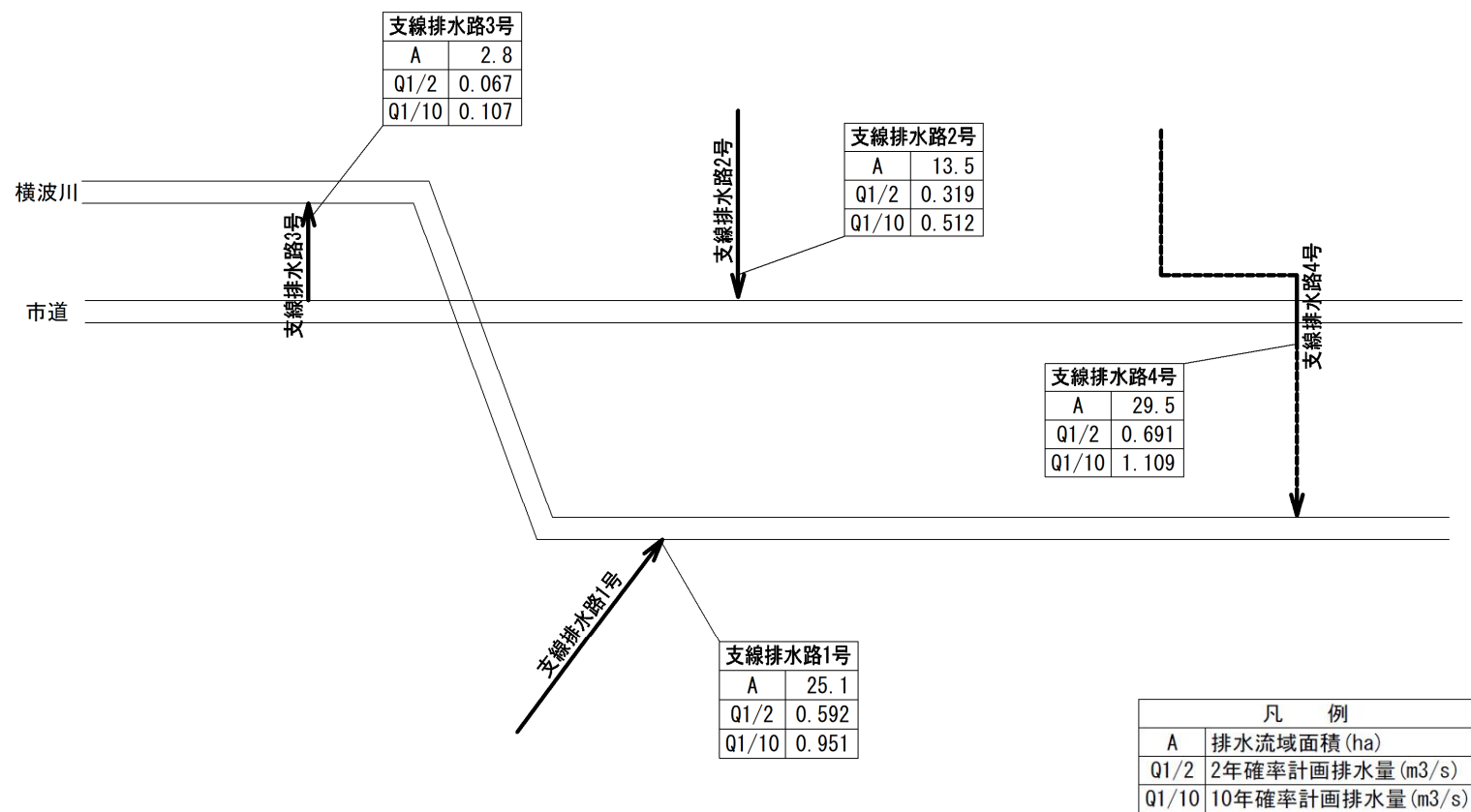
(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

2 排水状況

地区内の排水路は昭和50年から昭和54年にかけて団体営ほ場整備事業で整備されている。

地区の配水状況は、横波川が地区内を通過し、ほ場内の支線排水路はそれに接続して排水している。これらは、整備後40年以上が経過し、損傷が進んでいる箇所もあるが、地元管理により対応している。また、一部断面不足による排水不良も生じている。

(1) 排水系統



(2) 排水施設
(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 m ³ /s	現況排水能力 m ³ /s以上	備考
			100ha以上		100ha～30ha		30ha未満						
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
経営体育成基盤整備事業	自然	排水路	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 4	(〃) 71.0	(〃) 4	(〃) 71.0	(〃) 2.700		
		水門	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -			
	機械	排水機	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -			
		水門及び排水機	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -			
		排水路及び排水機	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -			
	計		(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 4	(〃) 71.0	(〃) 4	(〃) 71.0	(〃) 2.700	(〃) -	

(イ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
経営体育成基盤整備事業	自然	排水路	(〃) 4	(〃) 6.1	(〃) プレハブ柵渠	(〃) UF250,600×600,600×850	(〃) S50～S54	(〃) 施設の損傷、排水機能低下	
		水門	—	—					
	機械	排水機	—	—					
		水門及び排水機	—	—					
		排水路及び排水機	—	—					
	計		(〃) 4	(〃) 6.1					

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水 面積 (ha)	降水量 (mm)		状 況				乾 湿 状 況 (ha)						平均減産量		備 考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
	計																

3 河川状況

(1) 河川状況

(第5表-7)

河川名	項 目	流 路 状 況	勾 配	断 面	計画洪水量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備 考
横波川		(〃) コンクリート擁壁にて護岸	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

第4節 道路概況

1 道路概況

該当なし

2 主要道路一覧表

該当なし

(第6表)

No	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

項目	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	水熱電 道供ガ 業給ス (人)	通運 信 業輸 (人)	卸売小 売業 (人)	金融保 険業 (人)	不動 産業 (人)	サー ビス 業 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
市町村名																
長浜市	57,434	1,789	47	47	17	3,434	17,217	184	2,831	7,755	986	450	18,940	1,654	2,083	
計	57,434	1,789	47	47	17	3,434	17,217	184	2,831	7,755	986	450	18,940	1,654	2,083	
比率 (%)	100	3	0	0	0	6	30	0	5	14	2	1	33	3	4	

資料：平成27年国勢調査

2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

区 分	農家総戸数（戸）	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数（戸）											1戸当たり平均農用地面積（ha）							耕地の分散状況		専業別農家数（戸）			備考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	団地数	一戸当たり面積（ha）	専業	兼業			
																						第一種	第二種		
市町村名																									
長浜市	3,840	6	400	719	400	195	186	136	130	65	33	1,570	2.25	0.06	0.00	2.31	－	2.31	－	－	470	170	1,630		
計	3,840	6	400	719	400	195	186	136	130	65	33	1,570	2.25	0.06	0.00	2.31	－	2.31	－	－	470	170	1,630		
比率（％）	100	0.2	10.4	18.7	10.4	5.1	4.8	3.5	3.4	1.7	0.9	40.9	97.4	2.6	0.0	100	－	100	－	－	20.7	7.5	71.8		

資料：2015年世界農林業センサス

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項 目 市町村名	動力農機具								主要家畜										備考
	トラクター		動力田植機		コンバイン		動力防除機		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	羽数 (百羽)	戸数 (戸)	羽数 (百羽)	戸数 (戸)	
長浜市	2,748	2,399	2,314	2,276	2,305	2,213			x	1	x	1	-	-	8	4			
計	2,748	2,399	2,314	2,276	2,305	2,213			x	1	x	1	-	-	8	4			
100戸当たり数量 (台・頭)	115		102		104				-		-		-		200				
動力農機具利用 戸数割合 (%)	62		59		58				-		-		-		-				

資料：2010年世界農林業センサス

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名			長 浜 市						計	平 均	作付率	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)			7,970						7,970			
区 分			作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	作付率	備 考
作物名			(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(%)	
田	表 作	水 稻	5,550	492					5,550	492	-	
	表 作	小 麦	398	284					398	284	-	
	裏 作	大 豆	881	108					881	108	-	
	小 計		6,829						6,829		-	
畑												
樹園地												
計			6,829						6,829		89.8	
市町村別延べ作付率(%)			89.8						89.8			

資料：令和元年 農林水産統計年報

5 農業の動向

(第7表-5)

項 目	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	総農家数	82	67	耕 地	89	80	水 稻	91	93	乳用牛	x	x	トラクター	73	56	農業振興地域 指定 S45.6 許可 S45.11 山村振興地域 指定 S45.11	A:平成27年 (農林業センサス) B:平成22年 (農林業センサス) C:平成17年 (農林業センサス)
	専 業 農家数	87	116	田	89	81	麦 類	75	88	肉用牛	x	x	動 力 田植機	69	49		
	第一種兼 業農家数	79	76	畑	81	63	大 豆	117	120	豚	-	-	コンバ イン	69	49		
	第二種兼 業農家数	74	50	樹園地	155	55				採卵鶏	-	-					
	農 業 従事者数	75	52							ブロイラー	-	-					
変化の理由	農家の営農組織への移行及び離農により、減少している。			農地の荒廃や転用により減少している。			冬期の降雪により麦類の収穫量が減少している。			—			農家の営農組織への移行及び離農により、減少している。				

資料：2015, 2010, 2005年 農林業センサス、作物統計調査

第6節 地域環境の概況

1 自然環境

本地区は、長浜市の北部の旧西浅井町に位置し、一級河川大川の支流横波川沿いに広がる中山間地域である。地区を囲む山地からの豊富な渓流水と豊かな自然に恵まれ、地域内の水路ではサワガニ等多種多様な生物が生息する。

2 社会環境・地域指定

本地区（旧西浅井町）は、昭和45年に農振地域の指定を受け整備計画を策定し、優良農地の確保と農業生産力の増大や農業機械施設の充実と近代的農業経営を目指し、生産基盤の整備を推進し、本地区においても昭和54年に工事を完了した。その後、農業従事者の高齢化、兼業化、混在化が進んでいるが、農業構造改善・生産組織の育成ならびに生産物の品質向上に取り組んでいる。

地域指定：田園環境整備マスタープラン 環境配慮区域

3 生活環境

平成22年1月に長浜市、虎姫町、湖北町、高月町、木之本町、余呉町、西浅井町と合併を行い新市となった長浜市は、滋賀県の東北部に位置し、伊吹山系の麓に位置する。JR米原駅から国道8号を約10km北進したところに市役所がある。自然条件としては、北陸型気候であり11月上旬から12月の降雪期に至るまで湖北地域特有のしぐれがあり、晩期大豆の収穫や、小麦の播種作業等には不利な条件にある。市の産業構造（平成27年度国勢調査より）は、第1次産業3%、第2次産業37%、第3次産業59%となっている。総農家戸数は3,840戸、第1種兼業農家170戸、第2種兼業農家1,630戸である。経営規模は1.0ha未満が1,125戸、1.0～3.0haが781戸、3.0ha以上が364戸となっている。特に小規模農家が減少し農地の賃貸借が進展し農地の流動化が進んでいる。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要 旨

本地区は、昭和50年から54年にかけて団体営ほ場整備事業により施工されたものであるが、施工後約40年が経過し、施設の老朽化が著しく漏水等により下流まで十分に用水が行き渡らないことや、漏水により水田の乾田化の障害となっている。このようなことから、本地区には、安定的で効率的な農業経営を目指す担い手への農地集積を計画的に進め、かつ優良な農地を保全するため、用水路工、排水路工（泥溜工を含む）、暗渠排水工の生産基盤整備を実施する。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分	経営体育成基盤整備事業																		計 (ha)	備 考
	水 田	普 通 畑	牧 草 畑	果 樹 園	道 水 路 等	小 計	水 田	普 通 畑	牧 草 畑	果 樹 園	道 水 路 等	小 計	水 田	普 通 畑	牧 草 畑	果 樹 園	道 水 路 等	小 計		
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
用排水路整備	(〃) 12.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 12.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 12.3	
暗渠排水	((〃)) (0.9)	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	((〃)) (0.9)	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	((〃)) (0.9)	内数
計	(〃) 12.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 12.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 12.3	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

本地区の営農は、北陸型気候のため晩期大豆の収穫や小麦播種作業に不利なため稲作を中心とした経営が主体である。現在は、大半が零細規模の自給的農家であり、高齢化、後継者不足が進んでいる。このため集落営農の組織化により農地の集積を進め生産コストの低減を目指す。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水 田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶 園	その他	小 計	原 野	山 林	その他	計	備 考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
経営体育成基盤 整備事業	現 況	(〃) 12.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 12.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 12.3	
	計 画	(〃) 12.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 12.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 12.3	
計	現 況	(〃) 12.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 12.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 12.3	
	計 画	(〃) 12.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 12.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 12.3	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
経営体育成基盤整備事業	現 況	水稻	水田				○	△	△					×	×				○	△	△					×	×				○	△	△				×	×			○—○ 播種
																																								△—△ 定植	
																																								×—× 収穫	
	計 画	水稻	水田				○	△	△					×	×				○	△	△					×	×				○	△	△				×	×			○—○ 播種
																																							△—△ 定植		
																																							×—× 収穫		
		りんどう					△																																△—△ 定植		
																																							×—× 収穫		

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳(t)		備考	
	地目名			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり 収量増加		
経営体育成基盤 整備事業	水田	表作	水稻	(〃) 0.9	(〃) 0.9	(〃) -	(〃) 100	(〃) 100	(〃) 500	(〃) 515	(〃) 15	(〃) 4.5	(〃) 4.6	(〃) 0.1	(〃) -	(〃) 0.1	新設暗渠排水受益	
			小計	(〃) 0.9	(〃) 0.9	(〃) -	(〃) 100	(〃) 100	(〃) 500	(〃) 515	(〃) 15	(〃) 4.5	(〃) 4.6	(〃) 0.1	(〃) -	(〃) 0.1		
		裏作																
			小計															
		計	(〃) 0.9	(〃) 0.9	(〃) -	(〃) 100	(〃) 100				15	(〃) 4.5	(〃) 4.6	(〃) 0.1	(〃) -	(〃) 0.1		
	普通畑	春夏作																
			小計															
		秋冬作																
			小計															
		計																
	合計			(〃) 0.9	(〃) 0.9	(〃) -	(〃) 100	(〃) 100				(〃) 4.5	(〃) 4.6	(〃) 0.1	(〃) -	(〃) 0.1		

※作付面積は本地面積

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目	作 物 名	作付面積 (ha)	単 位 面 積 当 た り 労 働 投 下 量 (hr/10a)				備 考
	土地利用区分			区 分	現 況	計 画	増 減	
経営体育成基盤整備事業	水田	水稻	(〃)	人 力	(〃) 16.4	(〃) 14.7	(〃) △1.7	
			11.4	機械力	(〃) 6.7	(〃) 5.5	(〃) △1.2	
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
	小 計		(〃) 11.4					
小 計								
合 計			(〃) 11.4					

6 級地別土地利用区分

該当なし

7 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

- 1 計画基準年
 - 2 計画かんがい方式
- (1)水 田

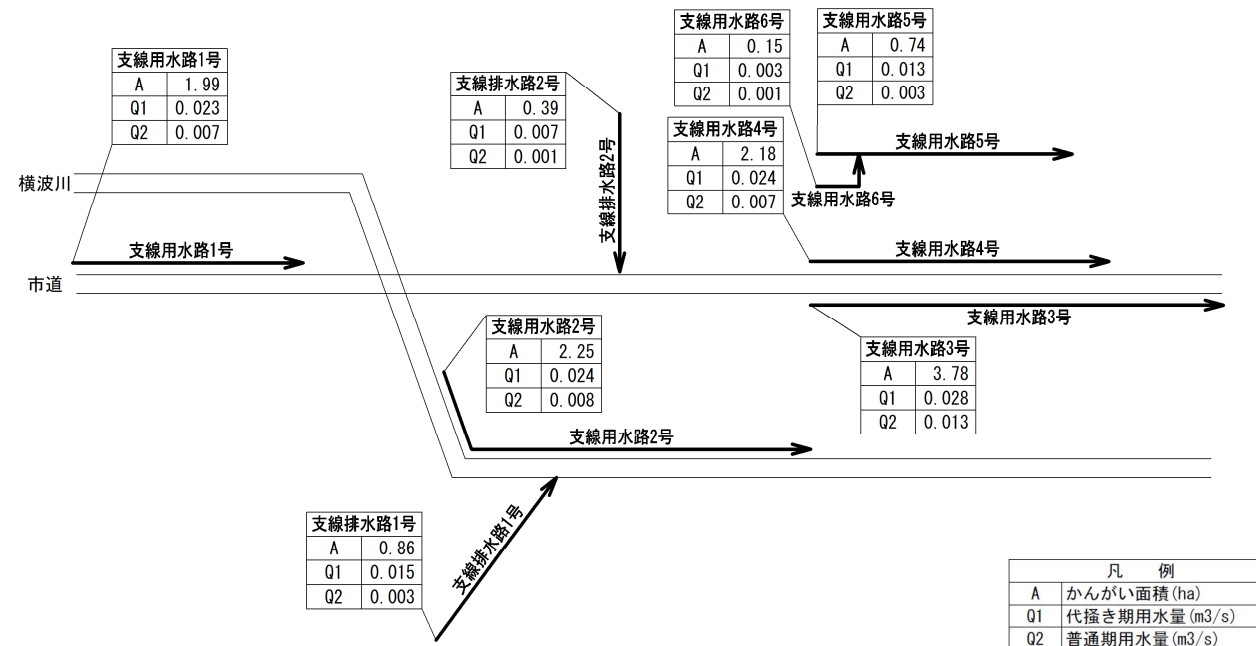
昭和42年（事業計画より）

項目 作付	代かき期間	かんがい期間	備 考
	5月2日 ～ 5月8日	5月9日 ～ 9月7日	

- (2) 烟 (輪換烟)

該当なし

3 計画用水系統



4 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量 (m³/s)	損失 率 (%)	粗用水量		備 考
		事 業 名			普通期	代かき期	面積	平 1 均 日 か 当 た り 深 計 画	平 均 間 断 日 数	面 積	平 一 均 日 か 当 た り 深 計 画	平 均 間 断 日 数	面 積	計 単 画 位 平 用 均 水 量	面 積			平 均	最 大	
		経営体 育成基 盤整備 事業		計	単 計 位 画 用 平 水 均 量 (mm/日)	単 計 位 画 用 代 水 均 量 (mm)		(mm/日)	(日)	(ha)	(mm/日)	(日)	(ha)	(mm/日)	(ha)			(m³/s)	(m³/s)	
横波		(〃) 12.3		(〃) 12.3	(〃) 25	(〃) 130	(〃) 12.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 0.034	(〃) 15	(〃) 0.040	(〃) 0.060	
計		(〃) 12.3		(〃) 12.3			(〃) 12.3			-			-							

(2) 営農飲雑用水

該当なし

5 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現 況 利 用 可 能 水 量			不 足 水 量		水 源 依 存 量		水源工種	備 考
						水 源 名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水 量	全不足 水 量	水源名	水 量		
		a (m3/s)	b (m3/s)	c = a − b (m3/s)	d = c / (1 − α) (m3/s)		e (m3/s)	f (m3/s)	g = c − f (m3/s)	h = d − e (m3/s)		(m3/s)	損失率：α = 0.15	
業 經營 體育 成基 盤整 備事	代かき期	(〃) 0.051	(〃) —	(〃) 0.051	(〃) 0.060	(〃) 自然 取水口	(〃) 0.060	(〃) 0.060	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃)
		普通期	(〃) 0.036	(〃) —	(〃) 0.036	(〃) 0.042	(〃) 自然 取水口	(〃) 0.042	(〃) 0.042	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —
	計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 該当なし

(第10表-3)

貯水池名	項 目		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m³)	利用貯水量 (千m³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m³/s)	備 考
	流域面積 (km²)		事業名							
	直 接	間 接			計					
					-					
計	-	-	-		-	-	-		-	

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なし

(第10表-4)

項 目 取水施設名	河 川 名	流域面積 (km ²)	か ん が い 面 積 (ha)			取 水 量		渇 水 量 (m ³ /s)	備 考
			事 業 名			最 大 (m ³ /s)	平 均 (m ³ /s)		
					計				
					-			-	
計			-		-	-	-		

(ウ)揚水機

該当なし

(第10表-5)

項 目 名 称	水 源 名	か ん が い 面 積 (ha)			所要水量 (m3/s)		揚 水 機				備 考
		事 業 名			最 大	平 均	実 揚 程 (m)	揚 水 量 (m³/s)	台 数 (台)	全揚水量 (m³/s)	
		経営体育成基盤整備事業		計							

(エ)用水路

(第10表-6)

項 目 名 称	か ん が い 面 積 (ha)			最 大 通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	備 考
	事 業 名						
	経営体育成基盤 整備事業	地区外	計				
用水路	(〃) 12.3		(〃) 12.3	(〃) 0.003～0.028	(2,195) 2,136	(〃) BF250～300	
計	(〃) 12.3		(〃) 12.3		(2,195) 2,136		

(オ)その他の水源施設

該当なし

(3)水温水質

該当なし

第 4 節 排水計画

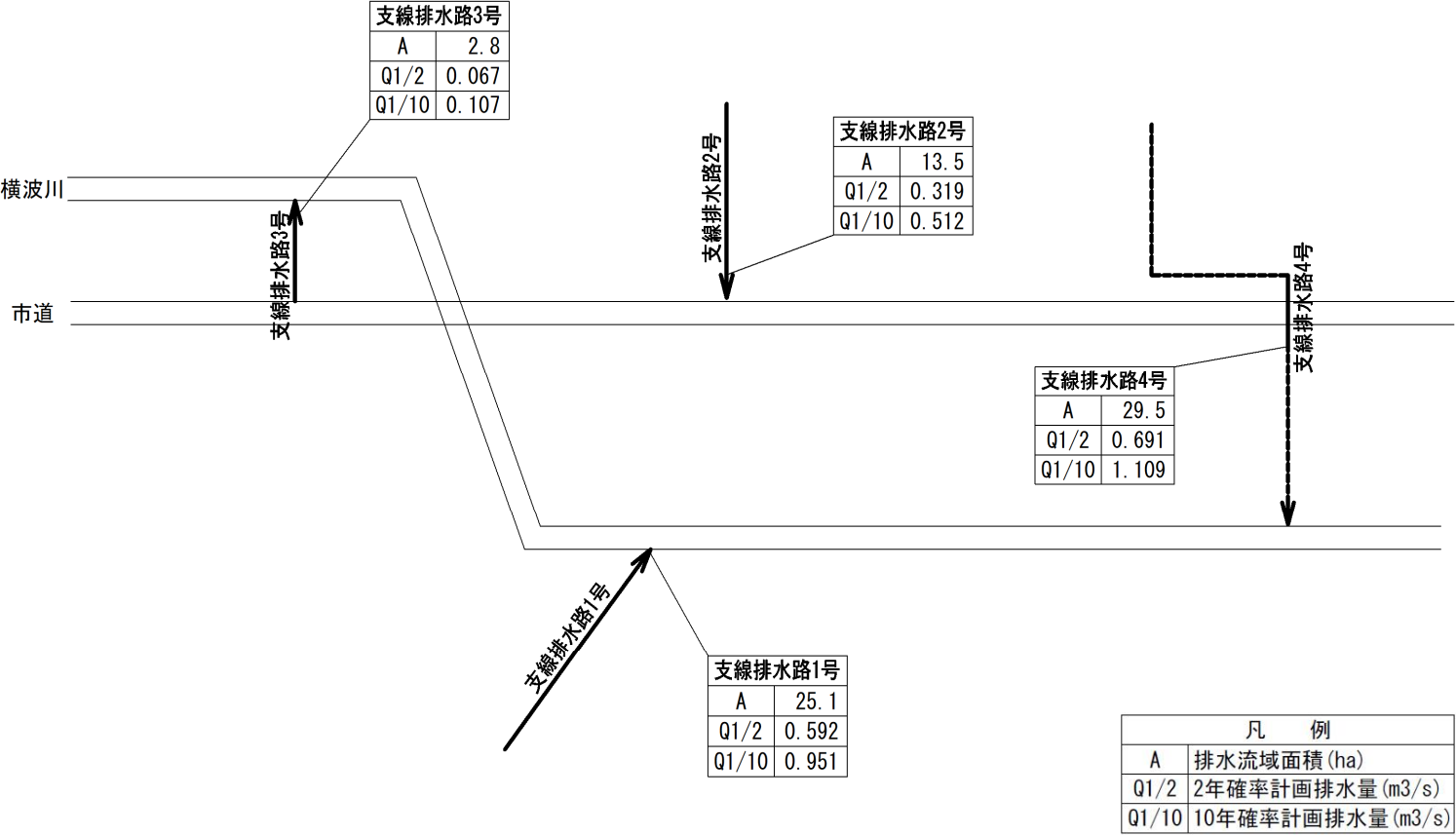
1 計画基準雨量

1/10年確率日雨量 200 mm/日

2 計画排水方式

自然排水

3 計画排水系統



4 計画排水量

(第11表-1)

項目	受益面積 (ha)			流域面積 (km2)		基準	降雨による 直接単位流出量 (m3/s/km2)		基底流出量 (m3/s/km2)		全排水量 (m3/s)			単位排水量 (m3/s/km2)		備考
	事業名										山地	平地				
	排水 系統名	経営体育 成基盤整 備事業	地区外	計	山地		平地	雨量 (mm)	山地	平地		山地	平地	山地	自然排水	
横波	(〃) 6.1	(〃) -	(〃) 6.1	(〃) 0.632	(〃) 0.077	(〃) 200	(〃) 3.82	(〃) 3.429	(〃) -	(〃) -	(〃) 2.414	(〃) 0.264		(〃) 3.82	(〃) 3.429	
計	(〃) 6.1	(〃) -	(〃) 6.1	(〃) 0.632	(〃) 0.077		(〃) 3.82	(〃) 3.429	(〃) -	(〃) -	(〃) 2.414	(〃) 0.264		(〃) 3.82	(〃) 3.429	

5 排水対策

(1) 排水水門 該当なし

(2) 排水機 該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km2)	受 益 面 積 (ha)			計画排水量 (m3/s)	延長 (km)	構造	本川排水			備 考
		事 業 名						名称	計画洪水量 (m3/s)	計画洪水位 (m)	
		経営体育成基盤 整備事業	地区外	計							
排水路	(〃) 0.028~0.295	(〃) 6.1	(〃) -	(〃) 6.1	(〃) 0.107~1.109	(〃) 0.514	(〃) プレハブ柵工 400×400~600×800	(〃) 横波川	(〃) -		

(4) その他 該当なし

6 たん水検討 該当なし

第5節 道路計画 該当なし

第6節 農用地造成計画 該当なし

第7節 洪水調節計画 該当なし

第8節 干拓計画 該当なし

第9節 農用地整備計画

1 区画整理 該当なし

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
計					

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

(第16表-3-1)

項 目 区 分	面 積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{\text{L}}{\text{s}}/\text{ha}$)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出 口以下の 排水方式	備 考
	経営体育成基 盤整備事業		計						
D34	(〃) 0.9		(〃) 0.9	(〃) 強グライ土壤 土壤還元型	(〃) 50	(〃) 5.787	(〃) 0.5	(〃) 自然排水	
計	(〃) 0.9		(〃) -						

(2) 心土破碎 該当なし

(第16表-3-2)

項 目 区 分	面 積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	土 壤 硬 度	備 考
	経営体育成基 盤整備事業		計			
計						

3 客 土

該当なし

(第16表-4)

項 目 区 分	面 積 (ha)			土壌統(区)名	減水深(mm/日)		作土の暑さ(cm)		10a当たり 客土量 (m3)	土壌の性質		備 考
	事 業 名				現況	計画	現況	計画		受益地 (%)	採土地 (客土材料) (%)	
			計		平均	平均	平均	平均				
計												

4 農地保全

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

1 洪水吐改修計画

該当なし

2 堤体補強計画

該当なし

3 取水施設改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

- | | |
|-------|------|
| 1 貯水池 | 該当なし |
| 2 頭首工 | 該当なし |
| 3 揚水機 | 該当なし |
| 4 用水路 | |

(第17表-4)

水路名	かんがい面積 (ha)			通水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名				開きよ	トンネル その他	計				
	経営体育成基盤 整備事業	地区外	計								
用水路	(〃) 12.3		(〃) 12.3	(〃) 0.003~0.028	(2.195) 2.136		(2.195) 2.136	(〃) BF	(〃) 1/300	(〃) -	
計	(〃) 12.3		(〃) 12.3		(2.195) 2.136	-	(2.195) 2.136				

- 5 その他かんがい施設 該当なし

第2節 排水施設

- 1 排水水門 該当なし
2 排水機 該当なし
3 排水路

(第18表-3)

水路名	受 益 面 積 (ha)			排 水 量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名										
	経営体育成 基盤 整備事業	地区外	計		開きよ	トンネル その他	計				
排水路	(〃)	－	(〃)	(〃)	(0.514)	－	(0.514)	(プレハブ柵工 400×400 ～600×800)	(〃)	(ボックスカルバート)	
	6.1	－	6.1	0.107～ 1.109	0.554	－	0.554	鉄筋Conフリューム 600×500 ～600×700	1/300	－	
計	(〃)	－	(〃)		(0.514)	－	(0.514)				
	6.1	－	6.1		0.554	－	0.554				

- 4 その他排水施設 該当なし

第3節 道路及び索道

- 1 道路 該当なし

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

区 分	項 目 路線名	幅 (有効) (m) × 延長 (km)	構 造	付 帯 構 造 物			最急こう配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
計										

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

路線名	項 目 名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考

- 2 索道 該当なし

第4節 農用地造成 該当なし

第5節 洪水調節施設 該当なし

第6節 干拓施設 該当なし

第7節 農用地整備施設

1 区画整理 該当なし

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m3)	面 積 (ha)	土 量 (m3)	
計	-					

(2) 末端用水路等

(3) 末端排水路等

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面 積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下の排水施設			備 考
	事 業 名													名 称			
	経営体育成 基盤整備事 業		計	勾 配	管 種	管 径 (mm)	延 長 (m/ha)	勾 配	管 種	管 径 (mm)	深 さ (m)	間 隔 (m)	延 長 (m/ha)	名 称	構 造	数量 (m/ha)	
暗渠排水	0.9		0.9	1/600	塩ビ管	65	160	1/600	ポリ管	65	0.7	10	707	排水路	プレハブ柵渠		
計	0.9		0.9														

(2) 心土破砕 該当なし

3 客土 該当なし

4 除礫 該当なし

5 農地保全 該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

- | | |
|----------|------|
| 1 貯水池 | 該当なし |
| 2 堤体補強施設 | 該当なし |

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

	(令和 4年度)
着 手	令和 4年度
	(令和 7年度)
完了予定	令和 9年度

第8章 環境との調和への配慮

1 整備上の配慮等事項

用水路： ・老朽化の著しい既設用水路の更新整備であり、既存の景観に影響を及ぼさないよう配慮する。

排水路： ・水生生物の生息環境への配慮とあわせ、排水路からの濁水や土砂流入を防止するため、泥溜工を数箇所設置し水質保全に務めるとともに、既存の景観に影響を及ぼさないよう配慮する。

2 施行上の配慮等事項

- ・工事施工に際しては、低騒音型の機械を使用し、周辺的环境に十分配慮する。
- ・工事の際は、製品のリサイクルを考慮した材料を使用する。
- ・排水路工事および泥溜工事に際しては生き物に配慮し工事を行う。また、泥溜工の構造、維持管理についても検討する。
- ・工事範囲を最小とし、生物の避難エリアを確保するように配慮する。
- ・濁水は工事範囲内に沈殿エリアを設けて直接排水しないようにする。

第9章 換地計画の概要

該当なし

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

第2節 換地区の設定

第3節 換地計画樹立の基本方針

第4節 土地の評価及び清算の方法

第5節 換地計画樹立の年度計画

第6節 換地処分の時期に関する特則

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

項 目	金 額 (千円)	備 考
用水路工	(49,471) 102,190	
排水路工	(35,299) 60,313	
暗渠排水工	(2,401) 3,091	
小 計	(87,171) 165,594	
測量試験費	(17,952) 16,949	
用地買収補償費	(400) 430	
工事雑費	(477) 1,027	
小 計	(18,829) 18,406	
地方事務費	(4,000) 7,000	
合 計	(110,000) 191,000	

第 11 章 効用

(第27表)

事業名	項目	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備 考
基盤整備事業 経営体育成	作物生産効果	(6,767) 7,858	(4,553) 3,637	
	営農経費節減効果	(△2) 35	(404) 402	
	維持管理費節減効果	(△157) △ 123	(68) 146	
	国産農産物安定供給効果	(600) 1,307	(〃) -	
	計	(7,208) 9,077	(5,025) 4,185	

<参考> (147,141)

総便益額 : 188,234 千円

第 1 2 章 関連する事業

該当なし

(第28表)

区 分	事 業 名	事業主体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容

第 1 3 章 現況・計画図面

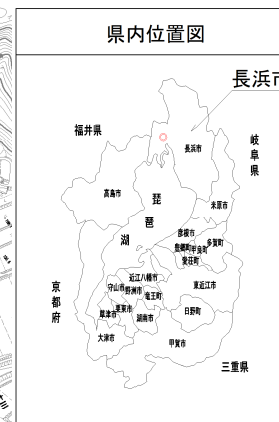
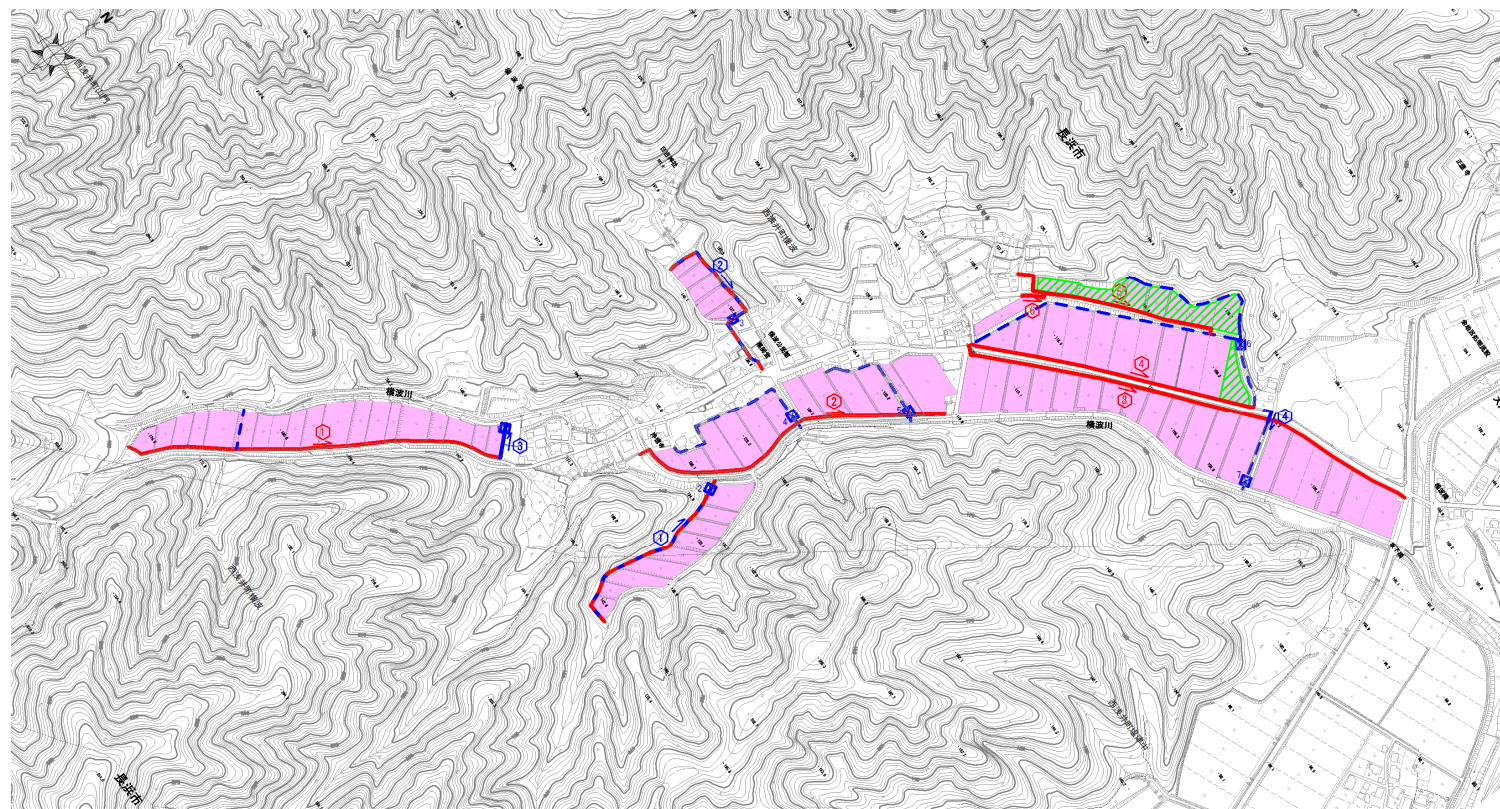
1 現況計画平面図

平面図、標準断面図参照

2 主要構造図

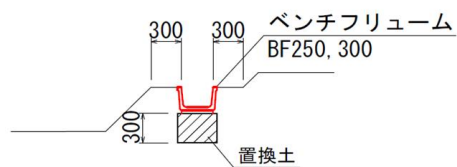
平面図、標準断面図参照

平面図、標準断面図(変更前)

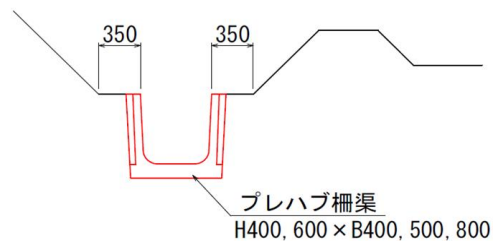


凡 例	
	受 益 地 区
	事業改修 用水路
	事業改修 排水路(用排兼用)
	事業改修 排水路
	既設利用排水路
	泥 溜 工
	暗 渠 排 水

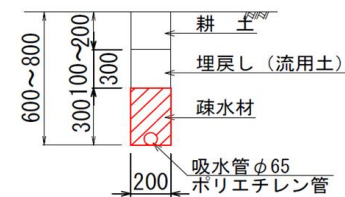
用水路工



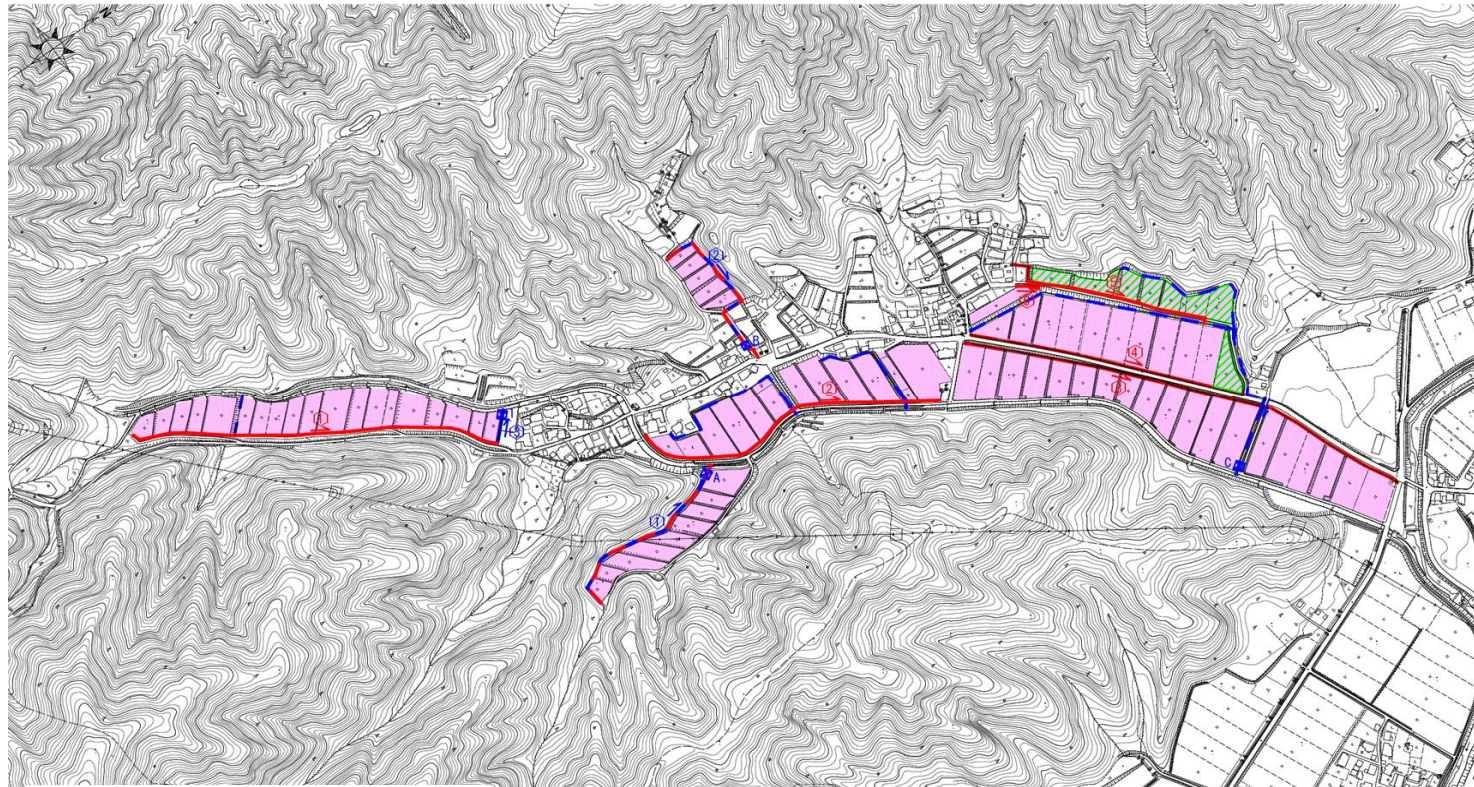
排水路工



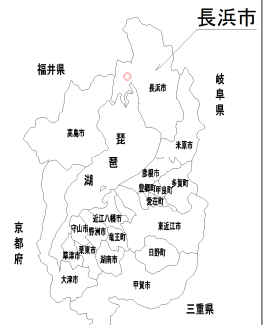
暗渠排水工



平面図、標準断面図(変更後)



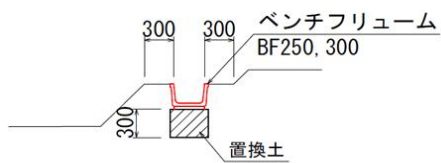
県内位置図



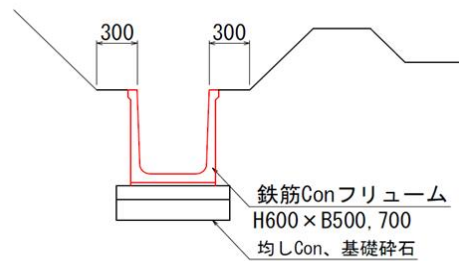
凡 例

	受 益 地 区
	事業改修 用水路
	事業改修 排水路(用排兼用)
	事業改修 排水路
	既設利用排水路
	泥 溜 工
	暗 渠 排 水

用水路工



排水路工



暗渠排水工

